

浅間山火山防災対策

浅間山火山防災協議会

群馬県総務部危機管理室 主幹 金井剛彦
長野県危機管理部 火山防災幹 南沢 修

浅間山

○概要

- ・標高 2,568m 成層火山
- ・上信越高原国立公園

○過去の噴火

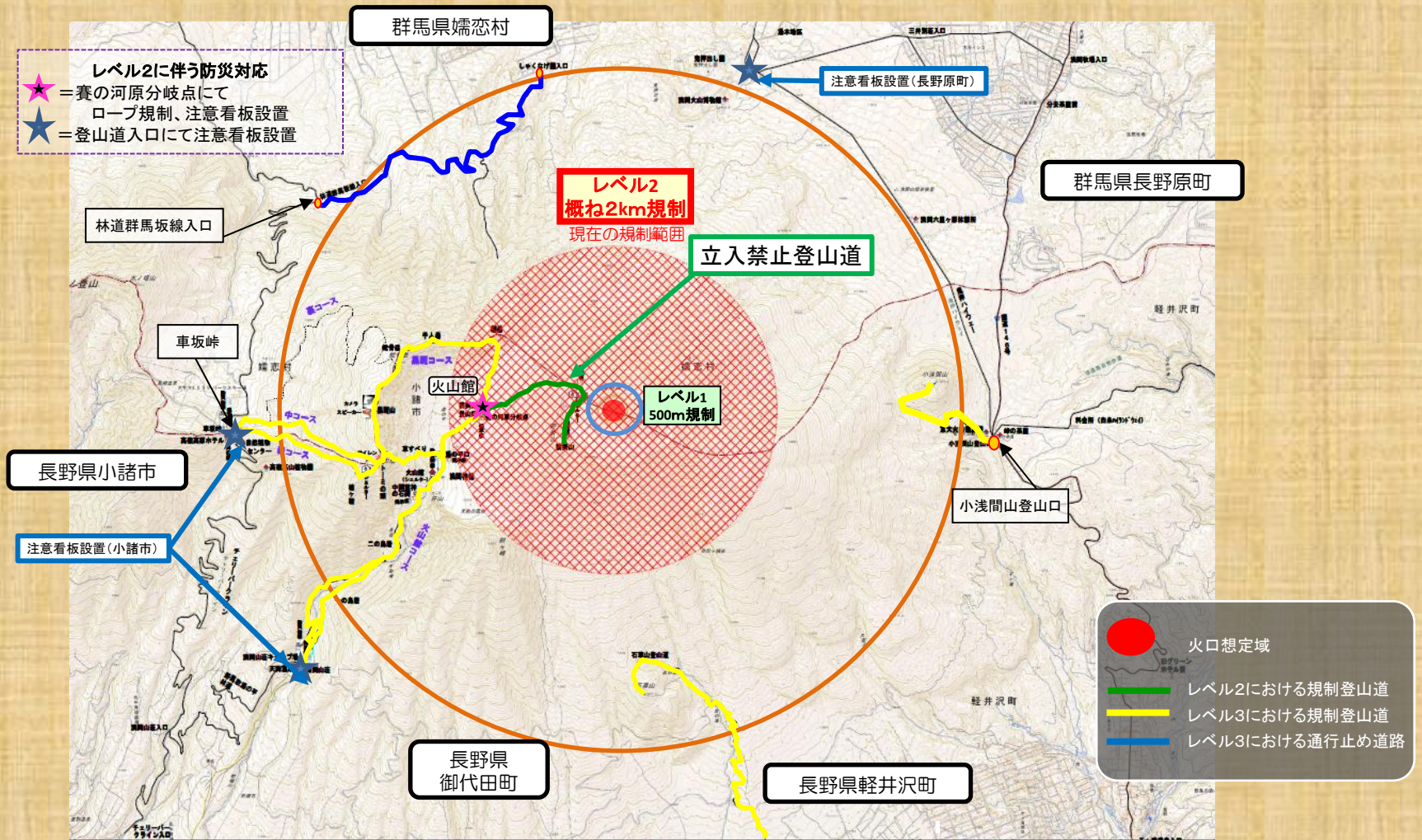
- 1108年 天仁大規模噴火
- 1783年 天明大規模噴火

○現在の浅間山

- ・平成27年6月11日
火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表



浅間山規制図 (現在: 噴火警戒レベル2)



噴火がもたらした観光資源

○「日本ジオパーク」に認定
浅間山北麓（ほくろく）（嬬恋村・長野原町）
「鬼押し出し溶岩」など国際的価値の高い遺構が多い



軽井沢町HPより

浅間山の火山防災対策

浅間山火山防災対策 連絡会議 (平成17年～)

長野県、群馬県、小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、長野原町、嬭恋村、気象庁、防災関係機関(気象庁、警察、消防、自衛隊)等の18機関により構成



- ・浅間山火山防災マップ(平成15年11月)
- ・浅間山噴火警戒レベル導入に係わる防災対応についての申合せ書(平成19年11月)
→浅間山の噴火警戒レベル運用開始(平成19年12月)
- ・浅間山融雪型火山泥流のハザードマップ作成(平成23年)
- ・浅間山中噴火に伴う融雪型火山泥流に係る防災対応についての申合せ書(平成23年11月)

浅間山火山防災協議会 (平成28年3月～) ※法に基づく協議会 に移行

長野県、群馬県、小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、長野原町、嬭恋村、気象庁、国土交通省、防災関係機関(警察、消防、自衛隊)等、民間企業などを含めた43機関と火山専門家により構成

浅間山火山防災対策の拡充に向けて

平成28年度以降、浅間山火山防災協議会として進める2つの具体的対策

- 天明・天仁クラスの大規模噴火を想定したハザードマップの改訂
- 小、中規模噴火時の降灰対策の充実化

■ ハザードマップ改訂 ■

・小中規模噴火に備えたハザードマップ
(2003年)



大規模噴火(レベル4、5)には未対応



今年度、ハザードマップ改訂に向けて作業中

- ・長野、群馬両県で予算確保
- ・プロポーザル形式で業者選定

2003年に作成したHM



■ 降灰対策の充実 ■

噴火頻度が多い浅間山では、
降灰に住民が慣れていない

小、中規模噴火による
少量の降灰でも混乱の可能性あり

噴火警戒LV3までの
降灰対策の充実化へ

- ・市町村による道路規制等の基準
- ・住民への情報の提供方法
- ・農作物別対策マニュアル・・・等

既存のマニュアルや申し合わせ書を整理

計画の一本化、内容の拡充で、住民も
理解出来る『浅間山避難計画』を目指す